

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
221	日本語学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Linguistics>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
日本語学	宮地 朝子(MIYACHI, Asako)		前期	火曜：3限
講義題目 Title	日本語学概論A			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration				
授業の目的 Purpose	<p>「日本語」を研究対象とする日本語学の方法論、諸領域について学び、観察・分析のケーススタディに触れる。観察・分析の視点を幅広く得ることによって、無意識の現象としての日本語の問題を発見する力、意識化する力を身につける。</p> <p>The aims of this course are</p> <p>(1) To gain a basic linguistic knowledge of Japanese language.</p> <p>(2) To learn to analyze actual data and make meaningful observations and discoveries.</p> <p>(3) To discover the joy of researching Japanese language.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>「日本語学」という学問分野のアウトラインを紹介した後、できるだけ具体的・かつ身近で不思議な日本語の諸現象をとりあげながら、観察・分析していく。その観察・分析を通して、音韻・形態・統語・意味の各論から談話の理論・語用論などに渡る諸分野・方法論を紹介する。</p> <p>前期「日本語学概論A」では、主に「文」内部で観察される諸現象に関わる各論を扱う。現代日本語のみならず、方言や歴史的に観察される現象にも目配りしながら、日本語の諸現象の問題のありかをとらえ、分析する視点を紹介する。（後期Bでは、文章論・談話分析、語用論から、日本語の動態・バリエーションに観察を広げ、変化と多様性を扱う各論や分析観点を紹介する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクション（1）日本語のしくみ 「文法」に気づく ・イントロダクション（2）日本語学の背景：伝統的国語学と現代日本語学・言語学 言語学史と多様な言語観 ・日本語学の諸分野（1）音声学・音韻論 ・日本語学の諸分野（2）形態論 ・日本語学の諸分野（3）統語論 ・日本語学の諸分野（4）意味論 ・日本語学の諸分野（5）語用論 ・日本語学の諸分野（6）談話分析と文章論 ・日本語学の諸分野（7）言語の多様性と変化 <p>前期・後期に扱う内容は、進度によって変更もありうる。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	適宜プリント等を配布する。			
参考書 References	<p>『岩波講座 言語の科学』全11巻、『現代言語学入門』全5巻（岩波書店）</p> <p>『日英対照 動詞の意味と構文』『名詞の意味と構文』『形容詞・副詞の意味と構文』影山太郎編、大修館書店</p> <p>『ふしぎ発見！日本語文法。』三弥井書店（名古屋大学日本語研究会GA6 / 石川美紀子・勝又隆・加藤良徳・北村雅則・駒走昭二・宮地朝子）</p> <p>その他、授業時に随時提示する。</p>			

受講生の 自宅学習 Preparation and review	授業前) 参考図書の予習、小課題への取り組み 授業後) 参考図書の復習、小課題への取り組み・発展的課題の追究
成績評価の 方法と基準 Evaluation	平常点(出席状況10%、小課題40%)および期末のレポート課題(60%)による。 なお、小課題については、授業時間内にできるだけ講評の機会を設け、 期末レポート課題については希望者に添削返却する。
連絡方法 Contact information	メール : miyachia@nagoya-u.jp